

## 【観光遺産産業化ファンド】 株式会社梅小路まちづくりラボ不動産に対する投資実行について ～アーティスト集積拠点のリノベーション資金の提供～

株式会社地域経済活性化支援機構（以下「機構」という。）は、株式会社観光産業化投資基盤を無限責任組員とする「観光遺産産業化ファンド（以下「本ファンド」という。）」にて、株式会社梅小路まちづくりラボ不動産（以下「ラボ不動産」という。）への追加投資を実行したことをお知らせいたします。

なお、今回の投資は、本ファンドの第18号案件となります。

ラボ不動産およびそのグループ会社であり本ファンド投資先でもある(株)梅小路まちづくりラボ（以下「ラボ」という。）は、モノづくり、食、アートをキーワードに、「梅小路京都西駅エリア」（※1）の「クリエイティブタウン」（※2）化の推進を目的として約3年前に設立された会社です。本件追加投資は、同エリア内にある遊休不動産を、アーティスト集積拠点として生まれ変わらせるためのリノベーション資金の提供となります。なお同物件はラボおよびラボ不動産社にとっての2号物件であり、2022年に1号物件として試作モノづくりの集積拠点「Umekoji MARkEt」が開所しています。

※1 「梅小路京都西駅エリア」:京都市下京区朱雀宝蔵町および朱雀分木町に立地する京都市中央卸売市場と市場場外周辺、梅小路公園周辺、京都リサーチパーク地区を含む七本松通りの東西、島原周辺等と定義

※2 「クリエイティブタウン」:ものづくり、先端技術、アートやデザイン、食文化を含む京都の伝統文化、観光業、グローバルな知見等を掛け合わせ、イノベーションを誘発し、グローバルに通用するものづくり産業を育成し、アートと京都の食文化を醸成し、またそれらの活動に関心を持つ方々、参画する方々を世界から誘引し、『参画型来訪』という新しい観光資源と観光スタイルとを創造する街

本ファンドは、今後も各地の地域事業者への出資や経営支援を行うことで、観光産業その他の地域産業の発達を促進し、地域経済の活性化に貢献してまいります。

投資先の概要は以下のとおりです。

会社名	株式会社梅小路まちづくりラボ不動産
所在地	京都府京都市下京区朱雀宝蔵町34番地 Umekoji MARkEt
代表者	代表取締役 藤崎 壮滋
事業内容	不動産流通事業
その他	ファンドより特定専門家(取締役)を派遣中

【参考資料】

梅小路まちづくりラボが目指すもの

梅小路エリアのクリエイティブタウン化推進を通じて、新しい観光「参画型来訪」の促進と地域経済の面的活性化を図る



梅小路エリア内の本物件の立地

梅小路エリアへの2号投資となる本物件は、②歴史的街並みとアートゾーン（かつて花街であったいわゆる島原エリア）に立地。アーティスト・クリエイターの集積基地を作り、周辺地域との交流を促進していく



【観光遺産産業化ファンドの概要】

<http://www.revic.co.jp/business/fund/36.html> 機構ホームページをご参照ください。

<お問い合わせ先・ご相談の連絡先>

株式会社地域経済活性化支援機構 <http://www.revic.co.jp/>

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階

代表: TEL 03-6266-0310

地域活性化支援本部: TEL 03-6266-0590